

2024年9月15日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第25号(通算3407号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に^{たいせつ}にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

敬老の日礼拝

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
(聖霊降臨節 第18主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙禱)

ちよさくけんしょうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

へん せつ
103編 11-12節

さんびか
賛美歌

21-522番「キリストにはかえられません」(©JASRAC)

せいしょ
聖書

しんと てがみ しょう せつ
エフェソの信徒への手紙 3章 14-21節

りたにー
交唱

とし かさ いの
年齢を重ねることへのお祈り

みんなで

さんびか
賛美歌

しんせいさんびか ばん よ ちから
『新生賛美歌』73番「善き力にわれかこまれ」(©JASRAC)

メッセージ

かみ あい かん とき
「神の愛を感じる時」

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか
賛美歌

21-413番「キリストの腕は」(©JASRAC)

しゅいの
主の祈り

(1880年訳)(4頁をご参照ください)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしょう
(6頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がごさいます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

まね ことば
招きの詞 詩編 103 編 11-12 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

11 天が地よりも高いように
主の慈しみは主を畏れる者をはるかにしのぐ。

12 東が西から遠いように
主は私たちの背きの罪を遠ざける。



聖書 エフェソの信徒への手紙 3 章 14-21 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

14-15 このようなわけで、私は、天と地にあって ^a家族と呼ばれているあらゆるものの源である ^b御父の前に、膝をかがめて祈ります。16 どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。17 あなたがたの信仰によって、キリストがあなたがたの心の内に住んでくださいますように。あなたがたが愛に根ざし、愛に基づく者となることによって、18 すべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどのものかを悟り、19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができ、神の満ち溢れるものすべてに向かって満たされますように。20 私たちの内に働く力によって、私たちが願い、考えることすべてをはるかに超えてかなえることのできる方に、21 教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々にわたって、とこしえにありますように、アーメン。

(脚注 a : LXX では「パトリア」、b : LXX では「パテル」、)

リタニー
交唱 「年を重ねることへのお祈り」 みんなで

聖書 主は言われた。「私の霊が人の内に永遠にとどまることはない。人もまた肉に過ぎない。その生涯は 120 年であろう」(創世記 6 : 3)

みんな 自分の命の長さがどれくらいなのか、わたしたちには分かりません。長くても、短くても、与えられた年月が、わたしたちの内に満たされているあなたの霊と共に歩むものでありますように。

聖書 力は若者の ^{ほま}誉れ。白髪は老人の ^{しら}輝き。(箴言 20 : 29)

みんな 若いときには力強く、年を重ねればしなやかに輝けるわたしたちでいられますように。

聖書 あなたの父と母を敬^{うやま}いなさい。そうすればあなたは、あなたの神、主
が与えてくださった土地で長く生きることができる。(出エジプト記 20:12)
みんな 長く生きられるのなら、その歳月が、父と母にとっても、隣人^{りんじん}にとっても、
あなたにとっても、善いものとなりますように。

聖書 c 父母に聞き従え。生みの親である c 父母に。d 父母が年老いても 侮^{あなど}っては
ならない。(箴言 23:22)

(脚注 c: 聖書協会共同訳では「父に」、d: 聖書協会共同訳では「母が」)

みんな 愛のうちに、わたしたちを教え、育ててくれた親に感謝することができます
すように。また血縁によらずとも、わたしたちを大切にしてくれた親の
ような方々に感謝することができますように。

聖書 昔の日々を思い出し、代々の歳^よ月^よを 顧^{さいげつ}よ。あなたの e 父母に問えば、
答えてくれる。長老たちも、あなたに話してくれる。(申命記 32:7)

(脚注 e: 聖書協会共同訳では「父に」)

みんな わたしたちは、生み育ててくれた親や、親のような方々に尋ね続けます。
わたしたちの前を歩む人々の言葉を聴き続けます。

聖書 年老いてもなお実を結ぶ。命豊かに、青々として。(詩編 92:15)

みんな 月日とともに刻きざまれる一人ひとりの皺^{しわ}。その一つひとつに、あなたの
霊^{れい}が宿り、わたしたちを支え、生かしてくれています。

聖書 神よ、私が老いて白髪^{しらが}になっても、どうか捨て去らないでください。あな
たの腕の業^{わざ}を、力強い業を、来たるべきあらゆる代^よに語り伝えるその時ま
で。(詩編 71:18)

みんな この世を歩む間、若い時も年を重ねた時も、いつの日も、神の物語を、イ
エス・キリストの心を分かち合い、その中に生かされている喜びを感謝し
ます。

聖書 白髪^{しらが}は 誉^{ほまれ}ある 冠^{かんむり}。正義を行う道に見いだされる。(箴言 16:31)

みんな 一人ひとりに与えられている日々。その日々の歩みが、神よ、あなたを
よく知り、あなたに近づくためのものでありますように。

聖書 若い人たち、長老たちと心を合わせてください。(第1ペテロ5:5)
みんな 年を重ねる。その現実を知り、その意味を理解する日が必ず来ます。わた
したちがそうされてきたように、わたしたちもまた、若くても、年老いて
いても、隣人を大切に^{りんじん}し^{つか}仕えることができるように。あなたがこれからも、
一人ひとりを大切に^{りんじん}し^{つか}導いてくれますように。

みんな わたしたちの主、キリスト・イエスと共にあって祈ります。アーメン
(United Methodist Church: Discipleship Ministries, "Litany for Aging"を参考に一部改変)

主の祈り (1880年訳)

天にまします我らの父よ、
願わくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来きたらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの^{にちよう}日用の^{かて}糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを^あ試みに^あ遭わせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなく^{なんじ}汝のものなればなり。
アーメン



《先週のメッセージより》2024年9月8日

『従う』ということ」より

水谷憲牧師

聖書 ペトロの手紙Ⅰ 2章11-25節

私たちにとってこの世は仮住まい、私たちは旅人。だからこそ、私たちは自らの魂に闘いを挑んでくる肉の欲を避けるべきだ、とこの手紙の著者は言う。「肉の業」という、性的な罪のイメージ以上の「神から離れた人間の本質、生まれかわっていない人間の本質、キリスト不在の人間の本質」に私たちを誘いこもうとする「肉の欲」を避け、異教徒の間で立派に生活しなさいというわけだ。私たちは、自分が意識しているかいないか、望んでいるかいないかに関わらず、クリスチャンである以上、キリスト教の生きた広告塔なのだ。私たちの行いや言葉によって、キリスト教があこがれの対象になるか、失望や軽蔑の対象になるかが分かれてゆく。襟を正し、背筋を伸ばして、気をつけないといけない。

その「立派な生活」の具体例。「人間の立てた制度に従い、統治者に服従し、召使は畏れ敬ってどんな主人でも従え」……。びっくりすることが書いてある。ただ、新約聖書時代の国家と私たちの現在知る国家との間には、根本的な相違がある。今私たちは独裁国家ではなく、民主主義国家にいる。私たちの市民としての義務は、服従ではなく共働なのだ。政治にも参加するし、時には人よりも神の声に従うべき時があることも、使徒たちは証ししている。ただ盲目的に従うのではなく、神の御心に沿って、能動的に従っていきたい。

召使と主人の関係についても、私たちは現代の状況に合わせてこの御言葉を捉え直していかないといけない。聖書の時代から長い時を経て、世界中のほとんどの国で奴隷制度は消えた。もちろん現実には、今も世界のどこかに「奴隷」はいる。しかしそれは今の世界、確実に違法なのだ。当時は合法だったのに、なぜ現在は違法なのか。神の御心が、もともと全ての命を大切にされているからだ。当時の強固な奴隷制度の中で苦しみを受け、命を奪われた人々の苦難の歴史の中で、少しずつ時代は変わり、今に至った。まさにキリストと同じ、悲しい犠牲の積み重ねによって、私たちの世界は御心に沿った正常な世界へと、少しずつ変えられてきたのだ。

私たちの世界はまだ完全ではないが、私たちは少しずつでも御心の方向へ世界を変えてゆけるのだと、この手紙を読むたびに信じ、心新たに我が生活を振り返って、それぞれがキリスト教の広告塔であるという自覚を持って、御心に従って生活してゆきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 9月8日

礼拝出席 大人6名 献金 大人 5,000円 中継視聴者数 15回 感謝

◎次週 2024年9月22日(日) 聖霊降臨節第19主日礼拝

招きの詞 詩編 139編 1-5節

聖書 ヨハネによる福音書 10章 31-42節

メッセージ 「ヨルダンの向こう側」水谷憲牧師

賛美歌 21-17番(©讚美歌委)、21-361番(©讚美歌委)、21-234番(©P.D.)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週9月22日(日)の礼拝後の午後、14時から16時に八尾教会にて、河内地区合同壮年会が開催されます。合同礼拝の後のスペシャルプログラムとして「ゴスペル体験会・魂の叫び」が予定されています。事前申し込み不要で参加費も無料です(ただし、礼拝の中での席上献金があります)。どなたでもご参加ください。
- ・10月5日(土)16時から6日(日)12時にかけて、関西セミナーハウス活動センターにて、開発教育セミナー第4回「市民(わたし)から始める～難民と一緒に暮らせる街をめざして～」が開催されます。講師は田中恵子さん(特定非営利活動法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク代表理事)。参加費は12,000円(1泊夕朝食込、消費税、京都市宿泊税200円込)です。申し込み締め切りは9月29日(日)で、Webサイト、Fax、メール、電話等でお申込みください。電話 075-711-2117 FAX 075-701-5256 Eメール office@academy-kansai.org

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/22	水谷憲牧師	(14時～16時、河内地区合同壮年会、於:八尾教会)
9/29	牛田匡牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
10/6	水谷憲牧師	(世界聖餐日)ユーカーリスト
10/13	牛田匡牧師	教会を考える会

第19回 河内地区合同壮年会のご案内

2024年9月22日(日) 午後2時～4時
会場:八尾教会 (予定)

第1部 合同礼拝 説教 池田優希牧師
第2部 スペシャルプログラム

ストレス解消!歌って踊って健康になろう

「ゴスペル体験会・魂の叫び」



語りどギター 池田優希牧師・池田遼太郎さん

注:汗拭きタオルをお忘れなく。

お腹の底から声を出して
神様からの元気を頂きましょう!

2024年度 開発教育セミナー 第4回 関西セミナーハウス活動センター開発教育研究会

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界のつながりを持続可能な開発(SDG)に考える。

わたし

市民から始める



～難民と一緒に暮らせる街をめざして～

世界中で戦争や紛争が頻発し、その度におびただしい数の難民や避難民が生み出されています。現在、難民受け入れに消極的な日本にも多くの難民がたどり着いています。長年関西の難民支援に取り組んでいるRAFIQの活動から、改正入管法や難民支援の課題を浮き彫りにし、一市民としてどう関わっていくことが多様な社会を創ることにつながるのかを一緒に考えましょう。

講師: 田中 恵子さん

(特定非営利活動法人RAFIQ難民との共生ネットワーク 代表理事)

日時: 2024年 10月5日(土)16:00～6日(日)12:00

場所: 関西セミナーハウス (裏面に地図)

参加費: 12,000円(1泊夕朝食込、消費税、京都市宿泊税200円込)

* 宿泊は、2-3名1室を基本とします。併催ご希望の場合+1,000円負担ください。(併催ご希望をお知らせください。)

* 2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。(1,500円)

* Webサイト(申込フォーム)、Fax(裏面に記載)、メール、電話等でお申込みください。

* 申込締切: 9月29日(日)【定員20名程度】(前日以降は、電話でお問い合わせください。)

* 部分参加については事務局にお問合せください。

* 前日以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかります。

田中 恵子 たなか けいこ

特定非営利活動法人RAFIQ難民との共生ネットワーク 代表理事

2001年保育士をしていた時、偶然知り合ったアフガニスタン人が入管収容所に入れられ、仕事や子育てに追われながらも時間を見つけて面会することから支援をはじめた。2002年RAFIQ結成。

(後援) 京都市教育委員会、京都府教育委員会、認定NPO法人開発教育協会(DEAR)